

マンホールトイレが大活躍

地震などの大災害の時にも、避難所などで快適にトイレが使えます



避難所では、大勢の人が一緒に生活をするので、衛生的な環境づくりが大切です。

地震などの大災害で断水や停電になると、普段使っているトイレが使えず、私たちの暮らしはとても不便になります。そのような時に、避難所で活躍するのが、下水道に直結して使用することができる、マンホールトイレです。災害時でも、快適にトイレが使えるよう、全国の学校や公園などでマンホールトイレの整備が進められています。

監修：国土交通省下水道部／協力：21世紀の下水道を考える協議会

平成28年の熊本地震の時に、避難所で活躍したマンホールトイレ。車いすの方も安心して使用できます。

知っているかな？ マンホールトイレ

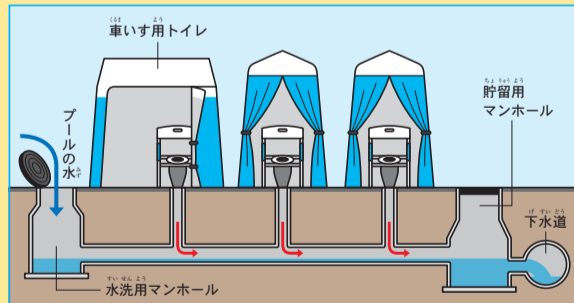


画像提供：東松島市

通常はマンホールのふたが並んでいます。



マンホールトイレが設置できるふたには、「災害トイレ」と書いてあります。みなさんの学校にもあるかどうか、探してみよう！



マンホールトイレの仕組み。(ほかの方法もあります)

マンホールトイレは、マンホールの上に、便器や仕切り施設を設置するだけで、すぐに使えるトイレです。

直接、下水道へ流せるので衛生的で悪臭もしません。段差はなく、洋式トイレもあるので、お年寄りや子どもにも使いやすい、バリアフリーなトイレです。

組み立て方

マンホールのふたを開ける。 → 穴の上に組み立てる。 → 便座を設置する。 → ペーパーやライトを設置する。